

會報

令和5年12月17日 発行

第 80 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 大江 隆史

発行所：事務局 新井 嘉容

〒322-8588 埼玉県川口市西川口5-11-5

済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会

電 話 048-253-1551

F A X 048-256-5703

会長就任ご挨拶

NTT東日本関東病院 院長

大江 隆史

この度、関東整形外科勤務医会会長を務めることとなった大江隆史です。會報第80号に発刊にあたり、ご挨拶させていただきたいと思っております。

まずは自己紹介いたします。私は1985年東大を卒業し、故黒川高秀先生の主催される整形外科教室に入りました。1年間大学で研修した後、関連病院で一般整形外科を研修し、1992年東大へ助手として戻りました。大学で専門を手外科に決め、黒島永嗣先生の指導のもと手外科の研修を始めました。その一方、1994年から1年間、東大整形外科の医局長を務め、特に1995年に黒川先生が会長を務められた第68回学術集会をお手伝いしました。その後、千葉県にある一般救急病院に赴任し、20年間手外科臨床の腕を磨きました。そこでの切断指再接着は130例あまり、生着率は90%でした。2015年現在のNTT東日本関東病院に移り、2021年から病院長を務めています。(次頁へ続く)

目次

1. 会長就任ご挨拶 大江 隆史 .. 1
2. 手の骨折に対する鋼線連結型創外固定器を用いた治療経験 田島 康介 .. 2
3. 小児そしてAYA世代にも考慮すべき骨代謝異常と下肢アライメント異常 坂本 優子 .. 3
4. 会長退任にあたって 江畑 功 .. 4
5. 令和5年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会議事録（令和5年6月17日） 6
6. 令和5年度関東地区整形外科勤務医会総会議事録 10
7. 2022年度事業報告 11
8. 2023年度事業計画（案） 12
9. 2022年度 収支決算書 13
10. 2023年度予算書（案） 13
11. 令和5年度関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会議事録（令和5年10月23日） 14
12. 事務局から 17
13. お知らせ 18
14. 入会申し込み書 19

1960年生まれで、1985年（昭和60年）医師になったので、研修医の1年間と大学の助手の3年間を除き、人生のうち半分以上を勤務医として過ごしてきたことになります。

関東整形外科勤務医会の役割としては、勤務医の要望をまとめ日本整形外科学会へ上げる、日本整形外科学会からの報告事項を勤務医へ説明し伝える事があるのは自明です。一方、勤務医会であるからこそ果たすべき役割については十分な時間と労力が費やされているとは言えないと感じています。それは、人生の各段階において医師が勤務医を継続できるための条件を整えることではないかと思えます。我々の時代の多くの外科医が、親として必要とされる役割の大部分を専業主婦の妻に依存してきた現実があります。いつでも、いつまでも仕事に専念できる医師が良い外科医とされてきました。社会は急転換しています。育児休業の取得、子どもの保育園や幼稚園への送迎、子どもの急病への対応、習い事への送迎などを両親が分担することが当たり前になってきています。我々が昔はこうだったなどと言わずに、それらの役割が果たせるよう環境を整えなければ、それらの役割を果たす事が必要な医師は、我々の場所から、つまりは勤務医から退場していく事になるだけです。

これらの条件に対応するには、医局の壁を越えた、医局にはできない柔軟で迅速な仕組みが必要ではないでしょうか？できれば医師が互に通える範囲で、勤務医会の中で医師の業務の一時的・部分的なやり取りをでき、それを勤務医でいるメリットと感じてもらえれば良いと思います。皆さんとともに知恵を出し合っ、その他の工夫を加えることで、手術をする医師の場としての勤務医のために、貢献できればと思います。

続いて、ロコモの活動についても説明します。2007年に中村耕三先生がロコモを提唱された時より、ロコモの研究と広報に従事しています。2010年に学会のロコモ関連事業を行う組織として作られた、ロコモ チャレンジ！推進協議会の副委員長、第2代委員長として学会のロコモ関連事業を行ってきました。協議会は毎月開催され、2023年10月時点で154回を数えます。整形外科専門医の先生方の惜しみないご協力のもと、学会と乖離する事なく運営されています。協議会はロコモをPRのためのホームページを運用しており、ロコモに関する最新知識を掲載すると共に、公式パンフレットを発行しています。ホームページではロコモ啓発に熱心な整形外科専門医をロコモアドバイザーとして登録しています。現在ホームページの改修を進めており、アドバイザーの先生がたの活動を簡単に登録、発信できる仕組みを作っています。2024年初めには完成予定なので、是非登録ください。

私がロコモの研究、広報を続けている理由は、故黒川先生がおっしゃっておられた「整形外科を立派にしたい」という思い以外にはありません。整形外科の研究や臨床は1992年当時と比べると隔世の感があります。ロコモを通じて、医学界や社会の中での整形外科の価値・地位も高めて行くように努力したいと思います。

手の骨折に対する鋼線連結型創外固定器を用いた治療経験

東京女子医科大学附属足立医療センター整形外科 准教授

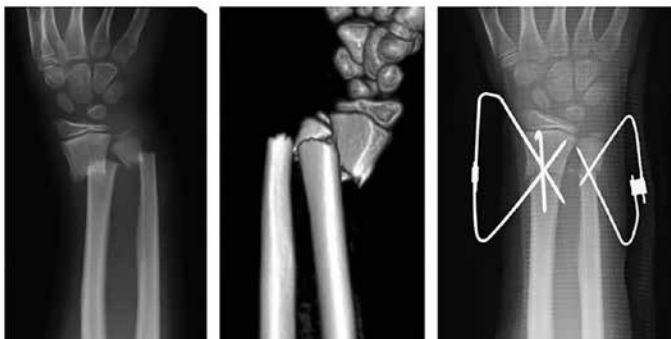
田島 康介

手や足の骨折において、保存治療では、整復位の保持が困難である、長期間の外固定を要する、変形治癒の残存や偽関節といった問題点があげられる。手術治療ではKirschner鋼線によるピンニング、Foucher法に代表される髓内固定法、プレート固定などがあげられるが、それぞれ一長一短がある。プレート固定では強固な固定性が得られ、早期関節可動域訓練が可能となる反面、手術侵襲や術後の癒着、抜釘をする場合は再び創部を展開する必要性などが問題となる。他方、ピンニングや髓内固定法では、プレートの比し小侵襲であり、鋼線刺入方向の自由度が高い反面、支持性は骨質に依存し、プ

プレートに比し固定力が弱かったり、ピンのlooseningがしばしば生じたりするなどの問題があった。

鋼線連結型創外固定器（アラタ社JuNction創外固定器）は、Mini Ilizarov wireを専用の小さなコネクタで連結するものである。手術手技はKirschner鋼線によるピンニングとほぼ同様で任意に鋼線を刺入し、刺入した鋼線同士を曲げてコネクタを通し、専用のクランプで潰して固定するだけである。交差した鋼線を連結するために、一方の鋼線が抜けるような力が加わっても、他方の鋼線がこれに抗するために転位が起こらない。力学試験では、骨折部に対する曲げ強度が、鋼線を連結するだけで約1.5倍、引き抜き強度が約2～2.5倍となることが示された。

鋼線連結型創外固定器は、低侵襲で短時間の手術が可能であり、強固な固定性が得られるために早期のリハビリも可能であり、プレートとピンニングの両者の長所を併せ持つ。経過中に鋼線が抜けてくる心配がないために、安心して経過観察が可能であることから、手や足の領域での骨折、とくに小児の肘や手関節の骨折で威力を発揮する。



症例1： 7歳男児 右橈尺骨遠位端骨折
(左より) 受傷時X線、受傷時3D-CT、術後X線

小児そしてAYA世代にも考慮すべき 骨代謝異常と下肢アライメント異常

順天堂大学医学部附属練馬病院整形外科准教授
小児・AYA世代ボーンヘルスケアセンター

坂本 優子

整形外科に来院する患者のほとんどが中高年であり、骨粗鬆症をはじめとする骨代謝性疾患や人工関節置換術の適応になる下肢アライメント異常は誰も診療経験があるだろう。しかし、それより若年の小児・AYA(Adolescent and Young Adult)世代にも気をつけるべき骨代謝性疾患と下肢アライメント異常を呈する疾患がある。

骨代謝性疾患とはビタミンやミネラル、ホルモンなどが骨形成・吸収などに影響を及ぼすことが原因で起こる骨組織の疾患の総称である。その中でも、近年、自閉症スペクトラム児が増加していることに関連して「壊血病」が増加傾向にある。ビタミンC欠乏で引き起こされるが、主訴は下肢のびまん性の痛み、立てない、歩けない、など非特異的であり、疾患を思い付かないと診断できない。カレーやうどんなどしか食わず、生の野菜やフルーツ、ジュースさえも飲めないという食生活を問診できたらこの疾患を思い浮かべられるだろう。ビタミンD欠乏で引き起こされるのは「くる病」である。成長軟骨板の閉鎖前に石灰化障害や成長軟骨の分化異常が生じることが原因の疾患で、単純レントゲ

ン上のcuppingやsplaying、frayingなどの特徴的な所見で診断する。しかし、くる病所見がなくO脚だけがある「生理的O脚」でもビタミンD不足が背景にあることを、われわれが突き止めている (Sakamoto Y et al. Calcif Tissue Int 2020)。紫外線を遮蔽すること、完全母乳栄養、白身魚（鮭含む）を食べない、などは問診で把握できるビタミンD不足のリスクである。ビタミンDの欠乏状態や低リン血症の有無など、くる病の種類は採血で判断する。小児の基準値にも気をつけたい。1歳以上の小児期の場合、ALP(IFCC)は105-330IU/Lが基準値で、血清リンは4.0mg/dl未満なら低値、25(OH)Dは20ng/mL未満で低値と判断する。AYA世代にも起こりうる骨代謝性疾患としては、がんの罹患、抗痙攣薬などの薬剤性や妊娠後などの骨粗鬆症にも気を付ける必要がある。

小児期には下肢アライメント異常が起きやすい。先に述べた骨代謝性疾患や骨系統疾患、腫瘍もしくは腫瘍類似疾患（線維性骨異形成など）、骨髄炎や成長軟骨板の障害、プロテインC,S欠乏症、成長軟骨板の外傷、手術あるいは放射線治療、靭帯の異常、先天性四肢形成不全症などによる脚長差など、さまざまな疾患が原因となりうる。Metaphyseal-diaphyseal angle (MDA)、Metaphyseal-metaphyseal angle (MMA)、Mechanical Axis Deviation (MAD)といった、小児独特のアライメント計測方法がある。これらの方法で、骨成長終了までに正常範囲を逸脱するアライメントだと評価したら、成長軟骨板をまたいでスクリューを挿入しプレート固定することで一時的に成長を抑制しアライメントを整える、小児独特の手術方法がある。

小児期・AYA世代に特有の骨代謝性疾患やアライメント異常を知ってもらうことで、早期発見・早期治療につながればと思っている。

会長退任にあたって

横須賀共済病院

江畑 功

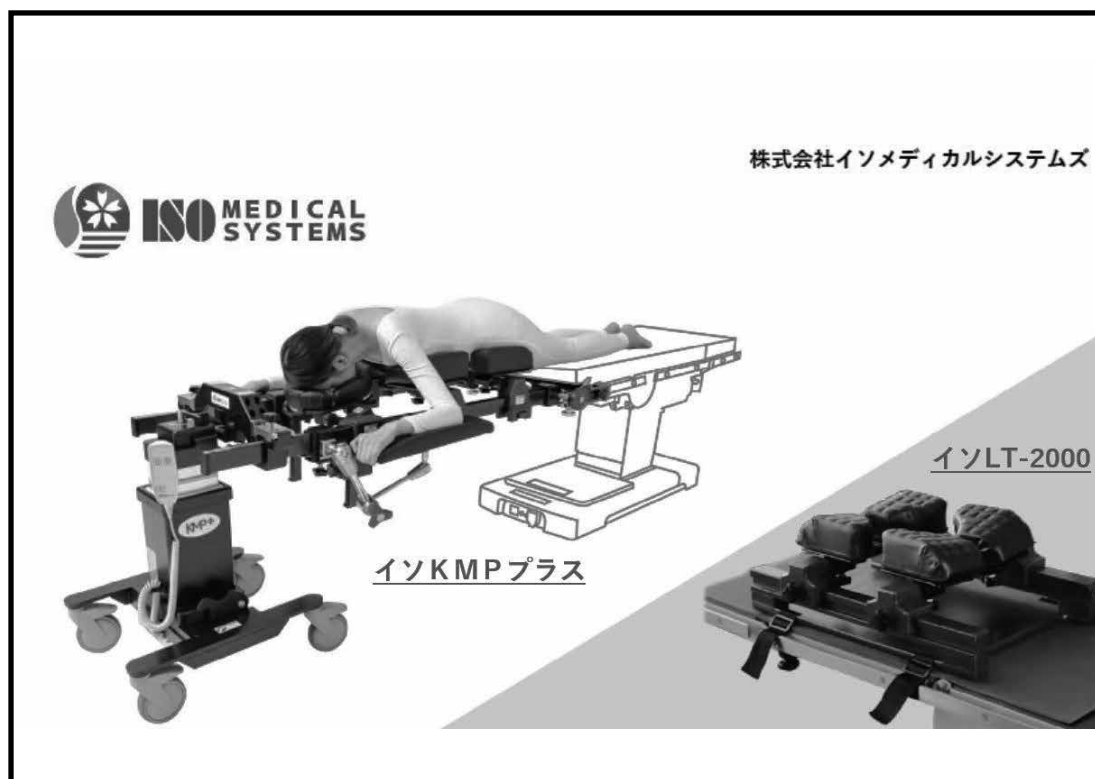
5年前の7月でしたか、前会長の山縣正庸先生から突然「関東地区勤務医会の次期会長をお願いしたい」とのお電話をいただき、びっくりしたことを今でも鮮明に記憶しています。自分ではまだまだ若輩と思っていましたが、20年以上も勤務医会に所属していつの間にか還暦も過ぎており、広報担当など少しは勤務医会の仕事も手伝わせていただいた経験も踏まえてのご推薦かと考えました。私のようなものに務まるのか非常に不安ではありましたが、恩師の故山田勝久先生（元日整会副理事長、横浜南共済病院）に相談していたとしたら絶対に「引き受けなさい」と言われるだろうと考え、腹をくくりました。

翌令和元年の6月の総会で正式に会長としてお認めいただきましたが、すでに5月から日整会理事の仕事も開始となりました。当初は理事会や各種委員会（広報・渉外委員会、骨粗鬆症委員会、ロコモチャレンジ推進協議会）や関連行事への参加に追われて、勤務医会の実務は事務局の先生方にほとんどすべてお任せの状態になっており、現在もまだおんぶに抱っここの状態かと反省しております。理事会や各種委員会は本郷の日整会事務室に直接参加が求められていましたので、30年以上一度も取ったことがなかった「年休」を利用しました。折しも「働き方改革」の関係でできるだけ年休を取らせるようにとの通達が病院内でも出始めた時期であり、率先して消化するためには都合がよいかと自分に言い聞かせていました。しかしごく普通の一般病院の部長でしたので、病院業務においては部下の後輩医師に頼らざるを得ない部分が数多くありましたが、皆が気持ちよく応援してくれました。

そんな環境に少しずつ慣れてきたところに突然訪れたのがコロナ渦でした。令和2年2月以後急速に感染拡大が起り、4月には緊急事態宣言が出されたため、6月の総会・講演会も中止せざるを得な

くなりました。当初は各病院の中でも整形外科医としての対応がどうあるべきなのかが手探りの状態でしたので、常任幹事の先生方にメールでアンケートをお願いしたりもしました。世間一般にWeb会議が浸透していく中、当会においても幹事会などがWebで行えるようになったのは、遠方の先生方にとっては少し恩恵になったのかと思います。準備を進めていただいた事務局の先生方には大変ご苦勞をいただきましたこと、あらためてお礼を申し上げます。同年12月には対面形式で幹事・常任幹事会と教育研修会を再開することができ、ようやく少し胸をなでおろすことができました。それからもうすぐ3年になろうとしており、講演会後の懇親会などコロナ以前の状態にまだ戻ってはいませんが、教育研修会への参加者も徐々に回復してきているのは大変喜ばしく思います。

働き方改革など勤務医を取り巻く環境はまだ問題山積であり、関東地区勤務医会の会長として十分に発信をしてこれたのかという自責の念はありますが、今後は大江先生にお願いしたいと思います。私自身は今後も勤務医を継続してまいりますので、引き続き当会には参加をさせていただきます。つたない会長ではありましたが、4年間支えていただきありがとうございました。



令和5年度関東地区整形外科

勤務医会 幹事・常任幹事

議事録

日時：2023年6月17日(土曜日) 14:30～15:20

会場：「AP東京八重洲通り」 11F [L+M] ルーム

参加者：

阿江 啓介、浅野 聡、新井 嘉容、泉田 良一、
岩瀬 嘉志、浦部 忠久、江畑 功、大江 隆史、
大野 隆一、岡崎 真人、鎌田 修博、亀山 真、
河内 敏行、楠瀬 浩一、児玉 隆夫、坂根 正孝、
佐々木 孝、進藤 重雄、杉山 肇、田尻 康人、
戸野塚 久紘、中川 照彦、長瀬 寅、新関 祐美、
西本 和正、萩原 敬一、林 淳慈、東川 晶郎、
平泉 裕、別府 保男、星川 吉光、松原 正明、
三上 容司、村松 俊樹、望月 智之、山縣 正庸、
山本 精三、吉田 英彰

(38名：五十音順、敬称略)

【報告事項】

(報告者の事情によりまず議題4より開始、続けて議題5→1、その後は議題の順に沿って進行)

1 理事会報告

江畑先生/大江先生より報告

江畑先生

- ・日整会100年プロジェクトとして過去のビデオ(サウンドスライド等も)をライブラリーとして保存へプロジェクトのロゴマークを決定 プロモーションビデオも作成中
- ・2月に第1回「整形外科医になろうセミナー」を開催、7月に第2回を行う予定
- ・2022年度の決算で約1.8億円の黒字となった情報技術強化等の基金積み立てに回す予定
- ・来年度専門医試験のCBT業者は前回と同じ教育測定研究所に決定 会場の確保等が主な理由
- ・検体遺体を用いた手技研修会の管理等を目的としてCST委員会(仮称)を新設
- ・JOANRの2021年度報告が完成 97万件と初年度から約10万件増加 5月の総会以後公開
- ・日整会基幹システム(JOINTS)におけるMEDPORTALの位置づけ(日整会会員であれば別途登録不要に)

等整備中

- ・日整会誌冊子体廃止に伴い、著者への別冊配布も廃止に代わりに非会員にのみ謝礼支払いを
- ・東京オリ・パラに関わる医療体制を検討する学術連合体(AC2020)は今後の大規模イベントに向けて継続する方向
日整会も継続して参加する方向に

大江先生

- ・5月11日 理事長選挙が無記名投票で行われ中島康晴理事が理事長に選任
- ・5月25日 開催の臨時理事会にて副理事長、各理事の担当が承認
副理事長のうち1名は勤務医会の田尻康人先生
- ・6月15日 令和5年度各種委員会等委員及びアドバイザーの委嘱承認
- ・日本整形外科学会相談医の名称許諾承認
異議なく363名の相談医へ証書を送付することになった
- ・会員の入会承認
異議なく正会員28名 研修会員13名の入会を了承
- ・リバース型人工肩関節全置換術適正使用基準の改定による使用基準の緩和 ①②の合計40例
① 肩腱板断裂手術の術者(②以外) 30例
② 人工肩関節全置換術の術者もしくは助手
工骨頭置換術の術者もしくは助手、リバース型人工肩関節全置換術の助手の合計10例
- ・抗NGF抗体薬の適正使用基準作業部会のメンバーの役割変更
- ・令和5年度全国整形外科保険審査委員会議における日医への講演依頼
日本医師会常任理事 長島公之先生
- ・AOA-JOA Travelling Fellowship:Gender Equality Committee Meeting with Dr. Balach(5/11開催)
担当理事 山内かづ代先生・委員長 新関祐美先生
- ・診療ガイドライン作成支援業務委託基本契約
一般財団法人国際医学情報センターと契約を締結
- ・医療放射線防護連絡協議会理事の推薦
福井大学医学部器官制御医学講座整形外科学分野教授 松峯昭彦先生
- ・事務局次長の採用
- ・会員の退会報告 正会員退会届6件を受理

2 ホームページ・会報

事務局より報告

- ・ 会報 79 号を発行
- ・ HP を一部変更

3 「ロコモチャレンジ！推進協議会の活動報告」

大江先生より報告

- ・ 4月15日（土）～23日（日）に開催された「第31回日本医学会総会 2023 東京 博覧会」において認定 NPO 法人全国ストップ・ザ・ロコモ協議会協力のもとロコモ度テストの体験コーナーを設置し、タレントの SAM さん登壇のダンスプログラムや石橋先生が制作された楽曲に合わせた体操プログラムなどのイベントが行われた。
- ・ 9月3日（日）に開催予定の第70回日本栄養改善学会学術総会において合同シンポジウム（共催：日本整形外科学会、日本骨粗鬆症学会、日本栄養改善学会）の予定
テーマは「Dietary Variety Score とロコモ・骨粗鬆症」
- ・ 10月28日（土）に開催予定の第10回日本予防理学療法学会学術大会において合同シンポジウムの予定
タイトルは健康日本21（第三次）に向けたロコモティブシンドローム対策 ―整形外科医と理学療法士の連携―
- ・ 日本医学会連合 領域横断的連携活動事業（TEAM 事業）フレイル・ロコモ対策会議の取り組みのひとつとして第82回日本公衆衛生学会総会でのシンポジウム開催を企画中
- ・ 骨転移診療の施設間格差是正に向けた新たな取り組みとして地域がん診療拠点病院の指定要件に骨転移による病的骨折や脊髄麻痺に対する緩和的外科的治療を行う体制が整備されていることを求める要望書を厚生労働省へ提出
- ・ 協議会にて作成したロコモアドバイスドクター講演スライドの利用範囲を以下とすることが承認
 - ・ ロコモアドバイスドクター
 - ・ ロコモサポートドクター
 - ・ ロコモ チャレンジ！推進協議会委員
 - ・ ロコモ チャレンジ！推進協議会 WG 参加メンバー（整形外科専門医でない方も含む）
 - ・ パートナー会員各社
- ・ 新委員に労働衛生の観点からの勤労世代におけるロコモ（勤労者ロコモ）を研究されている産業医科大学脊椎脊髄センター 中村英一郎先生が承認さ

れた

- ・ 協議会の活動目標として「今後2年間でロコモ認知度の50%到達」を掲げた（2023年現在、41.5%）上記実現のため①ロコモアドバイスドクター制度の再整理 ②「ロコモサミット」の定期開催 ③事務局機能の強化などを整備予定

4 外保連関係の報告

平泉先生より報告

- ・ 合同会議 整形外科の領域で19関係学会を招集16学会が出席
勤務医会からは亀山先生がご出席
 - ・ Kコードの整理
手の外科や脊椎領域、骨折や人工関節などの分野で同じKコードでも実際は分けた方が良いと思われるものがある。そこで手術時間の分布の中央値やその内容・部位などにより分割した案を合同会議で纏めた。今後これを外保連報告として厚労省に報告する予定
 - ・ Coolief 疼痛管理用高周波システムについて
外科的治療の対象とならない変形性膝関節症に伴う慢性疼痛を有する患者のうち 既存の保存療法で奏効しない患者に対して末梢神経に高周波電流を供給し、神経を加温・凝固（焼灼）させることによって疼痛治療を行うもの
これが K697-3 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法の準用技術料：ロ その他のもの 15,000 点として算定可とされた
外保連には参加されていない日本関節病学会から提出された
- 亀山先生より報告
- ・ 日本整形外科勤務医会社保委員会報告
 - ・ 令和6年度改定に向けて勤務医会からの要望案件
 1. K047 3 超音波骨折治療法の適応術式に人工骨頭挿入術（肩）の追加
 2. ガングリオン穿刺術（J116-3）ガングリオン圧砕（J116-4）に（片側）の注釈をつけての算定
 3. K098 手掌屈筋腱縫合術の廃止
→外保連の承認を得て厚労省へ提出
→本年7月～8月頃に厚労省のヒアリング見込み
 - ・ 整形外科領域のKコードを部位別に見直す検討会議（外保連）

- ・同一Kコードで手術内容 手術時間が異なる術式の混在が中医協より指摘

参加学会：日整会、整形外科関連学会その他整形外科以外の学会（陪席）

目標：現在の術式別Kコードを部位別Kコードにする

- ・整形外科関連学会ごとに難易度-医師数-時間を検討
- ・STEM7（外保連）で分類するか？ ICHI（国際標準）で分類するか？
- ・末梢神経のような全身に対象部位がある場合の評価をどうするか？

→6/7に日整会の呼びかけで外保連所属の整形外科関連学会web参加しての合同会議

- ① JOANR調査で件数0の手術の扱い
- ② 外保連検討会議に参加の学会が検討した各領域術式整理の検討

- ・令和5年度全審会は9月10日にハイブリッド開催予定

5 内保連関係の報告

山縣先生より報告

- ・四肢骨格筋量測定と四肢体感筋量測定と運動器の慢性疼痛治療に対する集学的治療の慢性疼痛管理料を提出中（これで3度目）
- ・運動器の慢性疼痛治療に対する集学的治療の慢性疼痛管理料に関しては、ペイン・コンソーシアムの8学会で共同提案
- ・内保連の正式な委員として勤務医会から石橋先生が就任された

6 6月の幹事・常任幹事会、総会、第76回教育研修会事務局/村松先生より報告

- ・日時：2023年6月17日（土） 15:30～18:00
- ・会場：「AP東京八重洲通り」11F「Kルーム」
15:30～15:50 総会
15:50～16:00 帝國製薬企業DVD
16:00～18:00 第76回教育研修会
2 演題（講師控室：Nルーム）
18:00～20:00 情報交換会「Mルーム」

演題1 開始時間：16:00 終了時間：17:00

座長：岡崎 真人先生（荻窪病院整形外科・手外科センター長/リハビリテーション科部長）

演者：田島 康介先生（東京女子医科大学附属足立医療センター整形外科 准教授）

演題：「手の骨折に対する鋼線連結型創外固定器を用いた治療経験」

必須単位：[2] 外傷性疾患、[10] 手関節・手疾患、[Re] リハビリ

演題2 開始時間：17:00 終了時間：18:00

座長：新関 祐美先生（草加市立病院 整形外科部長・リハビリテーション医学科部長）

演者：坂本 優子先生（順天堂大学医学部附属練馬病院整形外科・スポーツ診療科 准教授/小児・AYA 世代ポーンヘルスセンター センター長）

演題：「小児期そしてAYA 世代にも考慮すべき骨代謝異常と下肢アライメント異常」

必須単位：[3] 小児整形外科疾患、[4] 代謝性骨疾患、

- ・コロナ感染症拡大防止の観点から マスク着用でのご参加をお願い

- ・今回から研修会終了後の情報交換会を再開

7 10月の常任幹事会の日時、開催形式

事務局より報告

- ・配信日：2023年10月23日（月）19:00～20:00
形式：Web開催

8 12月の幹事・常任幹事会、第77回教育研修会事務局/村松先生より報告

- ・日時：2023年12月16日（土）14:30～18:00
- ・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店 会議室
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目3番1号 新宿アイランドウイング 11階
14:30～15:30 幹事・常任幹事会
15:40～15:50 製品情報提供
16:00～18:00 教育研修会

演題1

演者：斎藤 充先生（東京慈恵会医科大学整形外科学講座 教授）

演題：「明日から使える骨評価AIソフトを用いた骨折1次・2次予防の戦略 ―長年に安全で効果的な逐次療法とは―」

演題2

演者：井口 浩一先生（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター教授）

演題：「脊髄損傷の超早期手術（仮）」

※演題内容はまだ正式な演題名ではありません

9 常任幹事退任

事務局より報告

- ・土屋 正光先生（同愛記念病院顧問）

ョン病院)

→参加者の拍手をもって承認

10 2022 年度事業報告【資料1】：事務局より

以上

11 その他

[文責：事務局 新井嘉容]

事務局より報告

- ・今回常任幹事会の開催については Google フォームを用いて案内した

将来的には常任幹事以外の会員に対しても Google フォームを連絡手段として適用したいが、メールアドレスの入手が困難であり今後の課題

【審議事項】

1 2023 年度事業計画案【資料2】

事務局より報告

→参加者の拍手をもって承認

2 2022 年度収支決算報告【資料3】

事務局より報告

→参加者の拍手をもって承認

3 会計監査【資料4】

山本先生より報告

→参加者の拍手をもって承認

4 2023 年度予算案【資料5】

事務局より報告

- ・繰越金減少に歯止めがかかった要因として以下を確認

- ・年2回の常任幹事会をWEB開催としたこと
- ・12月の幹事常任幹事会・教育研修会の会場が確保できたこと（ただし2022年から2024年まで）
- ・研修会の参加費徴収など

→参加者の拍手をもって承認

5 新常任幹事の推薦

事務局より報告

- ・辰巳 徹志先生（東京都立多摩総合医療センター 整形外科部長）

推薦者：苅田 達郎先生（東京都立大久保病院 院長）

- ・若林 良明 先生（横浜市立みなと赤十字病院 副院長 / 整形外科部長 / 手外科・上肢外傷外科部長）

推薦者：小森 博達先生（桜十字白金リハビリテーション病院 院長）

→参加者の拍手をもって承認

6 本日の総会における、議長・副議長選出

事務局より推薦

- ・議長：阿江 啓介先生（がん研有明病院）

副議長：戸野塚 久紘先生（神奈川リハビリテーション

令和5年度 関東地区整形外科

勤務医会 総会

議事録

- ・林 淳慈先生（新座志木中央総合病院 院長）
 - ・東川 晶郎先生（関東労災病院 副院長）
 - ・望月 智之先生（東京北医療センター
整形外科科長）
 - ・若林 良明 先生（横浜市立みなと赤十字病院 副院長
/整形外科部長）
- 参加者の拍手によって承認

以上

日時：2023年6月17日（土曜日）15：30-15：50

会場：「AP東京八重洲通り」11F [K] ルーム

会員数：382名（入会 12名、退会 18名）

定足：1/10以上

出席者：42名、委任状 60通

[文責：事務局 新井嘉容]

- ・議長 阿江 啓介先生（がん研有明病院）
- ・副議長 戸野塚 久紘先生（神奈川リハビリテーション病院）

【報告事項】

- 1 2022年度事業報告【資料1】
- 2 常任幹事の退任
 - ・土屋 正光先生（同愛記念病院 顧問）

【決議事項】

- 1 2023年度事業計画案【資料2】
 - 参加者の拍手によって承認
- 2 2022年度収支決算【資料3】
 - 参加者の拍手によって承認
- 3 会計監査報告【資料4】
 - 参加者の拍手によって承認
- 4 2023年度予算案【資料5】
 - 参加者の拍手によって承認
- 5 会長辞任の承認
 - ・江畑 功先生（横須賀共済病院 整形外科部長）が
会長辞任の意向
 - 江畑先生よりご挨拶の後、参加者の拍手によって
承認
- 6 新会長の承認
 - ・大江 隆史先生（NTT 東日本関東病院 院長）
 - 大江先生よりご挨拶の後、参加者の拍手によって
承認
- 7 新常任幹事の承認
 - ・児玉 隆夫先生（JCHO 埼玉メディカルセンター
副院長）
 - ・辰巳 徹志先生（東京都立多摩総合医療センター
整形外科部長）
 - ・長瀬 寅先生（同愛記念病院 整形外科部長）

【資料1】

2022 年度事業報告

2022 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日

会報発行：2 回

第 78 号：2022 年 12 月 17 日発行

第 79 号：2023 年 6 月 17 日発行

総会：1 回 2022 年 7 月 2 日

幹事・常任幹事会：2 回

2022 年 7 月 2 日、同年 12 月 17 日

常任幹事会：2 回

2022 年 10 月 17 日 (Web 開催)

2023 年 3 月 13 日 (Web 開催)

教育研修会：2 回

2022 年 7 月 2 日、同年 12 月 17 日

第 74 回 教育研修会 2022 年 7 月 2 日

【演題 1】

座長：新関 祐美先生

演者：宮武 和馬先生

(横浜市立大学医学部運動器病態学 助授)

演題名：勤務医に整形外科エコーは必要か？

－わからない痛みの超音波診療－

【演題 2】

座長：鎌田 修博先生

演者：中西 一義先生 (日本大学医学部整形外科学系
整形外科学分野 主任教授)

演題名：脊椎疾患における脊髄機能や痛みの客観的

評価の試み

第 75 回 教育研修会 2022 年 12 月 17 日

【演題 1】

座長：萩原 敬一先生

演者：古賀 英之先生

(東京医科歯科大学運動器外科学 教授)

演題名：半月板損傷に対する最新の治療戦略

【演題 2】

座長：泉田 良一先生

演者：澤口 毅先生(新百合ヶ丘総合病院

外傷再建センター 骨盤・関節再建部長)

演題名：寛骨臼骨折の治療－高齢者を含めて

全国整形外科保険審査委員会議 (全審会)

2022 年 9 月 11 日

外科系学会社会保険連合 (外保連)

総会、手術委員会、処置委員会、検査委員会、

麻酔委員会、実務委員会、広報委員会など

内科系学会社会保険連合 (内保連)

日整会社会保険委員会

日本整形外科勤務医会総会 2023 年 5 月 10 日

2023年度事業計画案

2023年6月1日～2024年5月31日

会報発行：2回 2023年12月、2024年6月を予定

総会：1回 2023年6月17日

幹事・常任幹事会：2回

2023年6月17日、同年12月16日

常任幹事会：2回 2023年10月23日 (Web開催)、

2024年3月 (Web開催)

教育研修会：2回 2023年6月17日、同年12月16日

・第76回 教育研修会 2023年6月17日

【演題1】

演者：田島 康介先生(東京女子医科大学附属足立医療
センター 整形外科 准教授)

演題名：手の骨折に対する鋼線連結型創外固定器を用
いた治療経験

【演題2】

演者：坂本 優子先生(順天堂大学医学部附属練馬病院
整形外科スポーツ診療科 准教授/小児・AYA
世代ボーンヘルスセンター センター長)

演題名：小児期そしてAYA世代にも考慮すべき骨代謝
異常と下肢アライメント異常

・第77回 教育研修会 2023年12月16日

以下の二方の先生にご講演をお願いし、内諾を得てい
る

【演題1】

演者：斎藤 充先生(東京慈恵会医科大学整形外科学講
座 教授)

演題名：明日から使える骨評価 AI ソフトを用いた骨
折1次・2次予防の戦略
—長年に安全で効果的な逐次療法とは—

【演題2】

演者：井口 浩一先生(埼玉医科大学総合医療センター
高度救命救急センター教授)

演題名：脊髄損傷の超早期手術 (仮)

※演題内容はまだ正式な演題名ではありません

全国整形外科保険審査委員会議 (全審会) 2023年9月
10日

外科系学会社会保険連合 (外保連)

総会、手術委員会、処置委員会、検査委員会、麻酔委

員会、実務委員会、広報委員会など

内科系学会社会保険連合 (内保連)

日本整形外科学会社会保険委員会

日本整形外科勤務医会総会 2024年5月22日 (予定)

勤務医会ホームページ維持・管理

会員メールアドレスの集積

[資料3]

2022年度 収支決算書

2022 (令和4) 年6月1日~2023 (令和5) 年5月31日

[収入の部]

[単位:円]

項目	予算額	決算額	増減	付記
前年度繰越金	2,427,568	2,427,568	0	
会費	600,000	610,000	10,000	会員382名中 151名納入済み
利子	20	20	0	
研修会費	150,000	254,000	104,000	
広告費	400,000	420,000	20,000	
幹事会費	0	0	0	
合計	3,577,588	3,711,588	134,000	

[支出の部]

[単位:円, 予算に対して収入減:▲]

項目	予算額	決算額	増減	付記
幹事会費	0	0	0	
総会・研修会費	300,000	231,000	▲69,000	
会報	300,000	460,983	160,983	
日本整形外科勤務会費	300,000	322,000	22,000	単位申請費 20,000円含む
通信費	100,000	1,944	▲98,056	
H P 運営費	200,000	183,700	▲16,300	
事務人件費	120,000	120,000	0	
雑費	10,000	34,052	24,052	
小計	1,330,000	1,353,679	23,679	
次年度繰越金	2,247,588	2,357,909	110,321	
合計	3,577,588	3,711,588	134,000	

[資料5]

2023年度 予算書 (案)

[収入の部]

[単位:円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
会費	600,000	600,000
利子	20	20
研修会費	200,000	150,000
広告費	400,000	400,000
(幹事会費)	0	0
前年度繰越金	2,357,909	2,427,568
合計	3,557,929	3,577,588

[支出の部]

[単位:円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
(幹事会費)	0	0
会場費 (総会研修会費)	300,000	300,000
会報	420,000	300,000
日本整形外科勤務会費	300,000	300,000
通信費	10,000	100,000
H P 運営費	200,000	200,000
事務人件費	120,000	120,000
雑費	10,000	10,000
小計	1,360,000	1,330,000
次年度繰越金	2,197,929	2,247,588
合計	3,557,929	3,577,588

HIPFORTRESS-ND

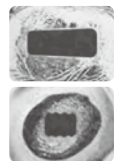
HIPFORTRESS-ND システムは、15年以上の歴史をもち、機能的評価、X線評価において、短期・中長期で素晴らしい臨床成績を収めているフル HA コーティングが施されたテーパー形状の人工股関節です。セルフロック原理に基づいたテーパーデザインにより、埋植が容易で術後早期の回復や沈みに対する安定性が高くなっており、ハイグレードチタンプラスマスプレーコーティングと HA コーティングのダブルコーティングにより、骨伝導性に優れ、初期固定性の向上が期待されます。このような特長により、無菌性ルースニングによるリビジョン中が大変低いデザインとなっています。

保証された固定力



10年でのサバイバルレート99%
埋植5年後以降のリビジョンは無い

埋植されたステムの周囲



チタンとHAのダブルコーティング



販売名: HIPFORTRESS-ND セメントレスシステム 医療機器承認番号: 22400BZX00478000
販売名: HIPFORTRESS-ND セメントシステム 医療機器承認番号: 22400BZX00466000

Plasma Technology
Amine modification



e = Bone®

アミン基修飾による
骨形成活性が期待されます



製品仕様

成分: β型リン酸三カルシウム (β-TCP 80±3% / HA 20±3%の二相性リン酸三カルシウム)
密度: 3.6g/cm³
気孔率: 65~75%
強度: 平均30MPa

医療機器承認番号: 202000BZX000110000
一級品 名称: 吸収性骨再生材料
品名: e = Bone



株式会社 Aimedic MMT

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズセンター
URL: <http://www.aimedimmt.co.jp/>

令和5年度関東地区整形外科

勤務医会 常任幹事会

議事録

日時：2023年10月23日 月曜日 19:00～20:00

方法：WEB (Zoom) 開催

出席者：

阿江 啓介、浅野 聡、新井 嘉容、伊室 貴、
岩部 昌平、上田 誠司、江畑 功、大江 隆史、
岡崎 真人、桂川 陽三、鎌田 修博、亀山 真、
木村 雅史、河野 亨、児玉 隆夫、篠崎 哲也、
進藤 重雄、田尻 康人、戸野塚 久紘、
新関 祐美、萩原 敬一、原 慶宏、東川 晶郎、
平泉 裕、眞塩 清、三上 容司、三原 久範、
村松 俊樹、望月 智之、山縣 正庸、吉田 英彰、
若林 良明

(32名：五十音順、敬称略)

【報告事項】

1 理事会報告

大江先生より報告

- ・第97回学術総会の指導者講習会はオンデマンドのみの開催
- ・今年度の専門医試験及び追試験の開催日時と試験方法について確認
昨年度の本試験のトラブルとCBT業者の再選定の経緯を共有
- ・日整会各賞選考委員会委員の構成承認
- ・2026年秋開催の46th SICOT Orthopaedic World Congressの開催地として日本が立候補に向けて対応、開催地は京都の予定
- ・関連学会からの日整会ホームページリンク依頼について関連学会の範囲を含めて広報・渉外委員会で検討しリンク依頼の可否を決定することを承認、現在は「手の外科学会」のみ、「足の外科学会」が申請中。
- ・レジストリー委員会から2022年度の症例登録数が100万件を超えたとの報告
- ・次期JOS Editor-in-Chief(2024年1月から任期6年)に千葉一裕教授(防衛医科大学)を推薦することを承認

- ・研修指導者講習会の開催方法変更について第98回日整会学術総会以降今暫くは現状維持の現地開催とオンデマンドを併用

- ・男女共同参画委員会にてJOYFUL通信の連載について検討

- ・「第2回整形外科医になろうセミナー」当日の参加者49名

第3回セミナーについて開催時期及び内容等を検討

- ・医道審議会において行政処分を受けた会員1名について、処分の手続きを進めることを承認

- ・災害ウェブ訓練の第7回を10月13日17時から愛媛県で、第8回を東北ブロックで予定

- ・日整会100年プロジェクト第2回ビデオリブラリWGについて報告

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・HPを一部変更
- ・会報80号発行の準備中

3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

- ・栄養WG、栄養改善学会シンポジウム開催報告
第40回栄養WGおよび9月3日(日)に開催された日本栄養改善学会合同シンポジウム「Dietary Variety Score とロコモ・骨粗鬆症」の開催報告

- ・EEATについて

2022年12月にGoogleのコンテンツ品質評価ガイドラインが大きく更新され、専門性(Expertise)・権威性(Authoritativeness)・

信頼性(Trustworthiness)による評価から、専門性+権威性に経験(Experience)の指標を加えることで信頼性が評価される仕組みとなり、経験談を含む記事コンテンツが重視されることとなった

- ・記者説明会連動イベント(魚ジャパンフェス in お台場)(11月23～26日開催)への出展について進捗報告

- ・ロコモサミットについて

協議会事務局内にて、運営協力先の媒体社について朝日新聞社または読売新聞社のいずれかで最終検討を進めている。会場費や起用可能なタレントなどを踏まえ、主に費用面でより良い条件の媒体社を選定し、近日中に改めて確定のご連絡をする

- ・「日本人の肥満を合併する整形外科系疾患患者の診療ガイドライン」の策定に係る3学会合同委員会

委員の推薦について

「日本人の肥満を合併する整形外科系疾患患者の診療ガイドライン」の検討を行うための日本整形外科学会・日本肥満学会・日本肥満症治療学会3学会合同委員会の設置に際し、日本肥満学会より日本整形外科学会へ委員3名の派遣依頼を公募中

・協議会名義使用規則について

後援名義を使用許諾できる場合

- (1) ロコモティブシンドローム啓発に役立つ行為
- (2) 主催者との関わりを持つことが公的に問題ない場合

- ・整形外科専門医の関わりが確認できる
- ・ロコモサポートドクター
- ・公的団体
- ・公共の目的を遂行しようとしている

(1)(2)を満たす場合は後援名義を使用することを可とする

・健康保険組合連合会との協業について

健康保険組合連合会は、令和3年10月に発出した「安全・安心な医療と国民皆保険制度の維持に向けて一健保組合・健保連の提言」において、社会環境の変化（人生100年時代・デジタル化社会）に対応した取り組みのひとつに「ロコモ対策」を掲げており、この度新たに協業を取り進めることを事務局より提案

4 外保連関係

関東整形外科勤務医会社保委員会

亀山先生より報告

- ・令和5年度全国整形外科保険審査委員会議（全審会）は9月10日に東京カンファレンスセンター品川とWebでハイブリッド開催
- ・令和6年度改定に向けて勤務医会からの要望案件
 - 1 K047 超音波骨折治療法の適応術式に人工骨頭挿入術（肩）の追加
 - 2 ガングリオン穿刺術（J116-3）ガングリオン圧砕（J116-4）に（片側）の注積をつけての算定
 - 3 K098 手掌屈指腱縫合術の廃止→1,2について厚労省のヒアリング（7月26日）
→11月初旬に1次評価の結果が発表の見込み
- ・外保連手術試案（9.4版）最終案の承認→勤務医会担当（主学会）は神経再生誘導術のみで、訂正はなしで回答
- ・今後の外保連行事のスケジュール

要望アンケート（令和8年度改定用）の日程について
アンケートの依頼（6月→4月下旬）

アンケートの締切り（11月15日→9月30日）に
早まった

外保連関連

平泉先生報告

- ・アロンアルファ終売の件
代替え品としてダーマボンド
- ・JOANR データ利用申請状況と JOANR データ利用申請書について
- ・第3回外保連手術委員会（7月27日Web開催）：
 - ・令和6年度診療報酬改定でロボット支援手術の関連術式を一括要望する
 - ・整形外科領域では「人工関節置換術」「脊椎側弯症手術」「脊椎固定術」が含まれる
 - ・医療材料について：諸般の事情で流通の滞りや物品の輸入コストが増えたことにより、「入手困難」；2335点「納入価格が償還価格に対して逆輸」；4660点」をリストアップして厚労省に提出した
- ・日医疑義解釈委員会：
 - ・医療材料の円安による高騰や償還価格の不適正
 - ・ジェネリック医薬品の供給縮小などの報告
- ・「064 脊椎固定用材料（5）脊椎スクリュー（可動型）横穴付き」：
日本脊椎椎髄病学会が定める使用基準が改定されたので留意、償還価格は10%アップ、上限は4本まで、過剰な仕様を控える
- ・令和5年度全国整形外科審査委員会議：9月10日ハイブリッド開催
 - ・345名の社保/国保/労災/柔整の審査委員が参加した
 - ・日整会広報室ニュース10月号で報告。
 - ・腱板再建時の使用材料
 - ・脛骨骨切り術時の腓骨に対する請求は「骨部分切除術」で請求
- 5 内保連関係
石橋先生に代わり山縣先生より報告
 - ・開催がなかったので進捗はなし、今年3月提出の筋力測定」と「疼痛管理」のまま
- 6 2023年12月の幹事・常任幹事会、教育研修会
事務局および村松先生より報告
 - ・日時：2023年12月16日（土）

- ・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店
会議室
- 住所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目
3番1号新宿アイランドウイング11階
- 14:30～15:30 幹事・常任幹事会
- 15:40～15:50 製品情報提供
- 16:00～18:00 第77回教育研修会
 - ・マスク着用、手指消毒、間隔確保を条件として
通常の開催形式で開催
 - ・講演会終了後の情報交換会は現時点では予定し
ていないが、開催に関して協議中

演題1

- 演者：斎藤 充先生(東京慈恵会医科大学整形外科
講座 教授)
- 演題名：「明日から使える骨評価AI ソフトを用い
た骨折1次・2次予防の戦略
—長期に安全で効果的な逐次療法とは—」
- 座長：→審議事項1
- 必須分野：[4]代謝整骨疾患、[12]膝・足関節・足
疾患、[Re]運動器リハビリテーション

演題2

- 演者：井口 浩一先生(埼玉医科大学総合医療センタ
ー 外傷センター教授・外傷センター長)
- 演題名：「頸椎頸髄損傷に対する救命治療戦略」
- 座長：→審議事項1
- 必須分野：[2]外傷性疾患、[7]脊椎・脊髄疾患、
[SS]脊椎脊髄病

7 常任幹事退任

事務局より報告

- ・五嶋 孝博 先生 (東京都立墨東病院)：勤務医
会退会希望

8 その他

名簿関連：事務局より提案

- ・名簿の修正につき、各地域の会長に依頼し、内容の
充実を図りたい

【審議事項】

1 次回12月の第77回教育研修会の座長候補

村松先生より報告

- ・演題1：座長：伊室 貴 先生 (厚木市立病院)
- ・演題2：座長：原 慶宏 先生 (武蔵野赤十字病院)
- 全会一致で承認

2 次々回3月の常任幹事会の日程

事務局より報告

- ・日程候補日：2024年3月11日(月) 19:00～
20:00
- ・形式：WEB (Zoom) 開催
→全会一致で承認

3 来年6月の幹事・常任幹事会、総会および教育研修 会の日時、場所ならびに演者の選定に関して

- ・日程候補日：2024年6月15日(土) 16:00～18:00
(仮)
- ・*15日はリハ学会のため、22日を再検討する
- ・会場：AP東京八重洲通り
- 14:30～15:30 幹事・常任幹事会
- 15:30～15:50 総会
- 15:50～16:00 製品情報提供
- 16:00～18:00 第78回教育研修会 2演題
- ・演者候補と演題名：

演題1

- 演者：折田 純久先生(千葉大学整形外科フロンテ
ィア工学センター教授)
- 演題名：腰椎疾患関係 (仮)

演題2

- 演者：黒住 健人先生(虎の門病院外傷センター長)
- 演題名：整形外科におけるBCP (Business
Continuity Planning) (仮)

- ・講演会終了後の情報交換会：未定
→全会一致で承認

4 新常任幹事の推薦

- ・候補者：中尾 祐介 先生(三楽病院整形外科部長)
- 推薦者：新井 嘉容(済生会川口総合病院整形外科)
- 全会一致で承認

5 新幹事の推薦

なし

6 その他

なし

- ・次回 幹事・常任幹事会、第77回教育研修会
日時：2023年12月16日(土)14:30～18:00
場所：新宿アイランドウイング11階

旭化成ファーマ (株) 医薬東京支店会議室

以上

事務局から

2023年も残すところあとわずかとなりましたが、みなさまにとって今年はどうな一年だったでしょうか。本会では、コロナ禍以降休止していた意見交換会を6月に再開できましたことは、今年の大きな出来事の一つであったのかもしれませんが。そして、きたる12月の教育研修会後にも意見交換会を開催する予定ですので、よろしくお願いいたします。

国内では、来たる年の「2024年問題」とも報じられている働き方改革に向けて、対策への準備が各業種で行われているようです。私たち勤務医もこの大きな荒波を超えられるよう努めていきたいものであります。

一方、海外ではクライナに続き、今度はガザ地区で戦争が発生し、毎日のように惨状の報道がされておりますが、一日も早い収束を願う今日この頃です。

(文責：伊室 貴)

事務局からのお願い

勤務先や住所に変更が発生した際には、事務局へのご連絡をお願いいたします。

関東勤務医会では、正確な名簿やホームページの作成および維持のためにも、みなさまのご協力をお願いいたします。



TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

Saccura
Spinal System

より幅広い症例で使用できるように
新たにフックとオフセットフックが追加されました。
これからも日本人に適した製品を提供していきます。

帝人ナカシマメディカル株式会社
〒709-0625 岡山市東区上道北方688-1
TEL. 086-279-6278 FAX. 086-279-9510

販売名: Saccuraスパイナルシステム(滅菌品)
医療機器製造販売承認番号: 30100BZX00100000

お知らせ

令和5年度関東地区整形外科勤務医会
第77回 日整会認定教育研修会のご案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会および教育研修会を開催いたします。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。

記

日 時：令和5年12月16日（土曜日） 開始時間は下記をご参照下さい
会 場：新宿アイランドウイング11階 旭化成ファーマ（株）医薬東京支店会議室
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目3-1
TEL：03-6911-3811（当日連絡先）
（会場が通常と異なることにご注意ください）

幹事・常任幹事会：14:30～15:30

【教育情報提供】 15:50～16:00 製品情報

教育研修会：16:00～18:00

【演題Ⅰ】

座長：厚木市立病院 整形外科部長 伊室 貴先生

演題名：「明日から使える骨評価AIソフトを用いた骨折1次・2予防の戦略
—長期に安全で効果的な逐次療法とは—」

必須単位：[4]代謝性疾患 [12]膝・足関節・足疾患 [Re]運動器リハビリテーション

演者：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座主任教授

斎藤 充先生

【演題Ⅱ】

座長：武蔵野赤十字病院 整形外科部長 原 慶宏先生

演題名：「頸椎頸髄損傷に対する救命治療戦略」

必須単位：[2]外傷性疾患、[7]脊椎・脊髄疾患、[SS]脊椎精髄病

演者：埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター教授・センター長

井口 浩一先生

会場費：¥1000

受講料：1題 ¥1000（単位取得者のみ）

懇親会：講演会終了後に同会場で情報交換会を用意しております

参加事前申込先：新井 嘉容 済生会川口総合病院 整形外科

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5

TEL 048-253-1551

共 催：関東地区整形外科勤務医会
旭化成ファーマ株式会社

関東地区整形外科勤務医会 入会申込書

令和 年 月 日

フリガナ _____

御氏名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日

現住所 〒 _____

TEL _____

勤務先名称

勤務先住所 〒 _____

TEL _____

メールアドレス _____

役職名 _____

出身大学 _____

卒業年次 昭和・平成 年

出身教室 _____

入会申し込み送り先

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

埼玉県済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会事務局代表 新井 嘉容

TEL 048-253-1551

FAX 048-256-5703

E-Mail kanto.orth@gmail.com

stryker



Know more. Cut less.

知るほどに、侵襲を少なく。^{1,2}



Mako SmartRobotics™

参照

1. Kayani B, Konan S, Pietrzak JRT, Haddad FS. Iatrogenic bone and soft tissue trauma in robotic-arm assisted total knee arthroplasty compared with conventional jig-based total knee arthroplasty: a prospective cohort study and validation of a new classification system. *J Arthroplasty*. 2018;33(8):2496-2501. doi:10.1016/j.arth.2018.03.042
2. Suarez-Ahedo C, Gui C, Martin TJ, Chandrasekaran S, Lodhia P, Domb BG. Robotic-arm assisted total hip arthroplasty results in smaller acetabular cup size in relation to the femoral head size: a matched-pair controlled study. *Hip Int*. 2017;27(2):147-152

Mako SmartRoboticsの特長を
動画でご紹介しています ▶▶▶



※本製品に関するお問合せは、弊社営業までお願いします。

医療機器承認番号 販売名
22900BZX00325000 M a k o システム

Literature Number: MK09-001L_Rev1
Copyright ©2022 Stryker

製造販売業者
日本ストライカー株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
F 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

かけがえのない命の手助け…



より良き健康と医療を目指して

サンメディックス株式会社

本社 〒104-6136

東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエア棟36階
TEL 03-5144-0855(代) FAX 03-5144-0850

- | | | | | | |
|------------------------------------|-----------------|---------------------------------|----------------------|---------------------------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> 東京第一支店 | 〒179-0075 | 東京都練馬区高松6-35-15 | TEL: 03-5923-6235(代) | FAX: 03-5393-3057 | |
| <input type="checkbox"/> 東京第二支店 | 〒130-0014 | 東京都墨田区亀沢4-17-12 | TEL: 03-5619-4551(代) | FAX: 03-6859-0016 | |
| <input type="checkbox"/> 東京第三支店 | 〒168-0063 | 東京都杉並区和泉1-22-19 | TEL: 03-6680-0460(代) | FAX: 03-6680-0538 | |
| <input type="checkbox"/> 多摩支店 | 〒187-0004 | 東京都小平市天神町1-9-27 | TEL: 042-348-5011(代) | FAX: 042-348-5015 | |
| <input type="checkbox"/> 千葉支店 | 〒261-0023 | 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 | TEL: 043-296-1063(代) | FAX: 043-296-1067 | |
| <input type="checkbox"/> 川崎支店 | 〒216-0005 | 神奈川県川崎市宮前区土橋1-21-5 | TEL: 044-870-6377(代) | FAX: 044-866-3813 | |
| <input type="checkbox"/> 横浜支店 | 〒240-0005 | 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 | TEL: 045-348-7260(代) | FAX: 045-348-7261 | |
| <input type="checkbox"/> 相模原支店 | 〒252-0334 | 神奈川県相模原市南区若松1-1-3 | TEL: 042-767-3771(代) | FAX: 042-767-3773 | |
| <input type="checkbox"/> 厚木支店 | 〒243-0016 | 神奈川県厚木市田村町11-20 | TEL: 046-296-2822(代) | FAX: 046-222-1563 | |
| <input type="checkbox"/> 宇都宮支店 | 〒320-0074 | 栃木県宇都宮市細谷町388-1 | TEL: 028-616-1580(代) | FAX: 028-623-7350 | |
| <input type="checkbox"/> とちぎ支店 | 〒329-4404 | 栃木県栃木市大平町富田石川5100番3 | TEL: 0282-45-3701(代) | FAX: 0282-44-0891 | |
| <input type="checkbox"/> 首都圏物流センター | 〒144-0042 | 東京都大田区羽田旭町11-1 羽田クロノゲート内 | TEL: 03-5735-7111(代) | FAX: 03-3743-8811 | |
| <input type="checkbox"/> 水戸営業所 | 029-305-6125(代) | <input type="checkbox"/> 埼玉営業所 | 048-640-6621(代) | <input type="checkbox"/> 長野営業所 | 026-229-8030(代) |
| <input type="checkbox"/> 筑波営業所 | 029-850-5185(代) | <input type="checkbox"/> 埼玉西営業所 | 0493-21-7310(代) | <input type="checkbox"/> 松本営業所 | 0263-24-1125(代) |
| <input type="checkbox"/> 前橋営業所 | 027-280-4433(代) | <input type="checkbox"/> 山梨営業所 | 055-242-0301(代) | <input type="checkbox"/> 名古屋営業所 | 052-218-2735(代) |

URL : <https://www.sunmedix.co.jp>



いのちの
数だけ、
アンサーを。



旭化成ファーマ株式会社
<https://www.asahikasei-pharma.co.jp>

